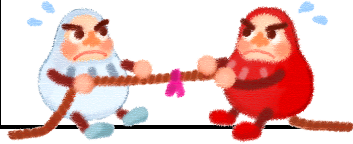


図書館だより

H28.9.2



日中の暑さは続きますが、朝夕のさわやかな空気を感じている人も多いのではないのでしょうか。先日は、街路時の植え込みから鈴虫の鳴く声を聞いて思わず後戻りしてしまいました。また、日の入りの時刻が早まり、国田ならではの美しい夕焼けを見ながら下校したり、夜空に輝く月を見上げたりするなど、私たちの身の回りも秋めいてきました。ここで、古文を二つ紹介します。

○ 名月を取ってくれろと 泣く子かな 小林 一茶

○ 秋きぬと 目にはさやかに見えねども

風の音にぞ おどろかれぬる 古今和歌集 藤原 敏行

昔の人も、このように秋の訪れを俳句や和歌に詠み、季節の移り変わりを楽しんだのです。みなさんも、秋らしい過ごし方を楽しんでください。

ちょっとしたお話



9月19日は、「苗字の日」だそうです。江戸時代、苗字を使っていたのは貴族と武士だけでしたが、1870(明治3)年9月19日に出された「平民苗字許可令」により、平民も苗字を持つことが許されたそうです。しかし、当時国民は明治新政府を信用しておらず、苗字を附けたらそれだけ税金を課せられるのではないかと警戒し、なかなか苗字を名乗ろうとしなかったようです。そこで明治政府は、1874(明治7)年の佐賀の乱を力で鎮圧するなど強権政府であることを誇示した上で、1875年の9月19日、苗字の義務化を断行したということです。

そこで、ちょっと変わった本を紹介します。その本の題名は、「ルーツがわかる名字の本」です。自分の苗字のルーツを探ってみませんか？

「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業

一学期中に受賞した児童生徒を紹介します！

【教育長賞】

4年： 阿久津 結衣さん 江幡 晴さん 住谷 雄大さん 戸崎 千尋さん

6年： 石川 望愛さん 小林 瑞姫さん 笹嶋 友喜さん 高安 好伸さん

田尻 慧斗さん 白田 愛佳さん 横田 祐樹さん

一学期中には目標冊数を超えられなかったけれど、「あと少しで達成！」という児童生徒はたくさんいます。図書室にも、新刊が100冊以上入りました。図書室から借りた本だけでなく、お家で読んでいる本でもいいです。目標冊数を達成したら、ぜひ、お知らせください。(賞対象者は、4年生以上です)

めざせ教育長賞!

小:50, 中:30冊

めざせ県知事賞!

小:300, 中:150冊

- まだ読んだことのない本や、いろいろな分野の本をたくさん読みたい。
- 去年90冊読んだので、今年度中に60冊読んで150冊を達成したい。
- 推理小説以外にも、伝記や冒険ものもたくさん読んでいきたい。
- 自分の知識が増えるような、歴史に関わる本を読んでいきたい。